

Special Feature

世界同一品質の発信元となる新たな生産拠点

マルチファクトリー

ソディックグループは中長期的な成長に向けて、生産拠点、販売拠点、研究開発に関わる設備投資を行い、経営基盤の強化に注力しています。本特集では2018年11月、新たに加賀事業所に竣工したマルチファクトリーについてご紹介します。

生産品目を限定せず、マルチプルな生産が可能に

2018年11月27日、国内の主要生産拠点である加賀事業所内に「マルチファクトリー」が完成しました。国内で約30年ぶりの大型投資となるマルチファクトリーは、事業環境や市場動向の変化、各種機械の受注動向に対応し、生産品目を限定せず、柔軟かつマルチプルに生産できる工場です。国内の主力工場として、高精度・超精密な形彫り・ワイヤ放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の工作機械群、高付加価値・高難易度成形品に特化した射出成形機など、お客様のニーズに合った製品を製造していきます。

また、加賀事業所には、製造部のほか、工作、産業、食品など各事業部の技術者が多く、各部署が連携をとることで、特殊用途や特殊仕様などへの順応性のある対応や、新機種や新機能を備えた高付加価値な製品の早期市場投入など、激しい市場環境の変化に迅速に対応できる体制となっています。

生産効率アップ、納期短縮を実現

マルチファクトリーでは、セル生産での自動組立や、IoTを活用した生産管理及び在庫管理を行うことで、省人化や作業効率の向上を図り、生産効率の向上及び納期短縮を目指します。また、2018年3月に稼働した物流センターと隣接しており、移動の簡易化や出荷効率アップ、コスト削減を図っています。

形彫り・ワイヤ放電加工機

世界同一品質の発信と同時にグローバル展開に対応

マルチファクトリーは当社がかねてより進めてきた「世界同一品質」強化のための発信元と位置付けています。海外工場へノウハウを展開し、生産効率向上や納期短縮にも積極的に寄与していきます。

また、世界的なハイエンド機への構造的なシフトに対応すべく、性能及び品質向上を目的に、様々な最新設備を設置しております。テストルームには恒温室や熱変位室を備えるなど徹底した空調管理の下でテスト加工を行っています。また、新設した自社製NC装置向けのプリント基板の生産設備は、世界最小チップの搭載に対応しており、より高精度な基板の製造が可能になるほか、徹底した自動化により、人の判断が不要となる基板の生産ラインを実現しました。



専務取締役(工作機械事業統括担当)

松井 孝



施設概要

所在地 石川県加賀市宮町 11-1
(加賀事業所敷地内)
建設面積 約 12,500㎡
延床面積 約 16,500㎡
投資総額 約 32億円
生産品目 放電加工機、マシニングセンタ、
金属3Dプリンタ、射出成形機 等